

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公開番号】特開2007-89864(P2007-89864A)

【公開日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2005-284128(P2005-284128)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月10日(2008.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周方向に周回すると共に、該周方向に複数種の絵柄が付された複数の周回体と、  
 前記各周回体について各絵柄のうち一部の絵柄を視認可能とする表示部と、  
 前記各周回体の周回を開始させるべく操作される始動操作手段と、  
 前記始動操作手段の操作に基づいて役の抽選を行う抽選手段と、  
 前記各周回体毎に設けられ、該各周回体を周回させる駆動手段と、  
 前記始動操作手段の操作に基づいて前記各周回体の周回を開始させるよう前記各駆動手段を開始駆動制御する開始駆動制御手段と、  
 前記各周回体の周回を個別に停止させるべく操作される複数の停止操作手段と、  
 前記各停止操作手段の操作に基づいて対応する周回体の周回を規定期間内に停止させるように、且つ、前記役の抽選に当選すると共に前記停止操作手段が所定のタイミングで操作された場合には、当選した役と対応する当選絵柄が前記表示部から視認できる有効位置に停止するように前記各駆動手段を停止駆動制御する停止駆動制御手段と、  
 前記有効位置に前記当選絵柄が所定の組合せを形成して停止した場合、遊技者に特典を付与する特典付与手段と  
 を備えた遊技機において、  
 前記有効位置に到達している到達絵柄と前記有効位置に停止させる停止絵柄との関係を定め得る停止情報群を複数記憶する停止情報群記憶手段と、  
 前記抽選手段の抽選結果に応じて前記複数の停止情報群から1の停止情報群を選択する停止情報群選択手段と、  
 該停止情報群選択手段の選択した停止情報群を格納する停止情報群格納手段と、  
 前記停止操作手段が操作された場合、対応する周回体に付された絵柄のうち前記規定期間内に前記有効位置に到達し得る到達可能絵柄を把握する絵柄把握手段と、  
 該絵柄把握手段の把握結果に基づいて、前記当選絵柄を前記有効位置に停止させることが可能か否かを判定する判定手段と、  
 前記停止駆動制御手段が前記各駆動手段を停止駆動制御する場合に、操作された停止操作手段と対応する周回体の停止態様を決定する停止態様決定手段と

を備え、

前記停止態様決定手段は、前記判定手段が前記当選絵柄を前記有効位置に停止させることが可能であると判定した場合、前記判定手段の判定結果に基づいて前記停止態様を決定し、前記判定手段が前記当選絵柄を前記有効位置に停止させることが不可能であると判定した場合、前記停止情報群格納手段に格納された停止情報群に基づいて前記停止態様を決定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示部から視認できる視認範囲に複数の有効位置を設定し得る有効位置設定手段と

、  
前記停止操作手段が操作された場合、前記視認範囲に到達し得る第 2 到達可能絵柄を把握する第 2 絵柄把握手段と、

該第 2 絵柄把握手段の把握した第 2 到達可能絵柄が前記当選絵柄と一致するか否かを判定する第 2 判定手段と、

該第 2 判定手段の判定結果を記憶する判定結果記憶手段と、

を備え、

前記判定手段は、前記有効位置設定手段が前記有効位置を複数設定した場合、前記所定の組合せを形成し得る有効位置毎に、前記当選絵柄を前記有効位置に停止させることが可能か否かを判定するものであり、

前記絵柄把握手段は、前記判定結果記憶手段の記憶結果に基づいて前記到達可能絵柄を把握することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記停止態様決定手段は、前記判定結果記憶手段に前記第 2 到達可能絵柄と前記当選絵柄の一致を意味する判定結果が記憶されていない場合、前記停止情報群格納手段に格納された停止情報群に基づいて前記停止態様を決定することを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。